

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	実 習	2	2	セラミック	必修	セラミック実習 ((公社) 日本セラミックス協会)

1. 学習の到達目標

セラミックに関する基礎的技術を実習によって体験させ、セラミック技術への興味・関心を高め、意義や役割を理解させるとともに、広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。

2. 学習の評価

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	成形技術に関する基礎的な知識や取り扱い方を身につけ、機械や道具の機能について正しく理解している。 各作業の基本的な事項を理解し、正確な作業ができる。 各作業において効率よく加工されている。	正確な作品ができるよう配慮し、ミスを少なくする工夫をしている。 効率よく作業を行うために、手順を工夫している。	各作業の基本的な事項を理解し、正確な作業方法を身につけようとしている。 正確な作品を成形する技術を身につけようとしている。
評価の方法	授業態度、実習服の着用（上下）、学習の取り組み状況、課題・ノートなどの提出物の状況などを総合的に判断して評価します。		

3. 教科からのメッセージ

1年間で成形の基礎〈ろくろ成形：茶碗、湯呑〉、絵付けの基礎〈染錦：皿〉を学習します。一つひとつの課題にかかる時間が長くなりますので、セラミックの基礎的な知識や技術をより深めることができます。作業を進める上では、効率よく作業ができるように自分で工夫し行動しましょう。作品を完成させるために、自分で計画し、制作することで、授業への興味・関心を深めましょう。

年間指導計画 科目名 実習 2 単位 2 学年

学 期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
前 期	4	成形の基礎 (ろくろ成形)	基本的事項
	5		①ろくろ成形の基礎基本を理解、習得する。
	6		②器が出来るように、しっかりと芯だしを行う。
	7		成形技術の発展
	9		①様々な形体に対応したろくろ成形技術を習得する。 ②へら各種の成形道具の使用方の学習。
後 期		絵付けの基礎 (染錦)	仕上げ技術の確立
			①様々な形体に対応した削り技術を習得する。
			②仕上げカナ各種の使用方の学習。
	10		基本的事項
	11		①制作工程を理解する。
	12		②指定された図案をもとに、仲立紙を用いて下絵を施す。
	1		③自分でデザインを考え、染錦の皿を制作する。
	2		④本焼成された皿に上絵の具で色をつけ、色見本を作る ⑤本焼成された皿に上絵を施す。
			仕上げ、施釉の基礎
			①仕上げ、施釉の工程を理解する。
			②仕上げ、施釉の技術を習得する。